

入札公告（説明書）

令和6年10月18日

東日本高速道路株式会社 東北支社長 梅木 秀郎

次のとおり条件付一般競争入札方式による調達案件について公告します。

なお、本調達案件については、あらかじめ東日本高速道路株式会社（以下、「NEXCO東日本」という。）が配布した入札者に対する指示書、仕様書等の契約図書その他関係法令に定めるもののほか、この『入札公告（説明書）』及び『共通入札公告（令和6年7月版）（以下、「共通入札公告」という。）』に記載のとおり実施します。

よって、本調達案件に参加する者は、共通入札公告2-2-1. に示す契約図書について内容を十分に確認し、その内容を承諾のうえに参加してください。

1. 調達手続の概要

1-1	契約件名（工事名）	仙台東部道路 新名取川橋耐震補強工事
1-2	工事概要	工事場所、数量及び工期等については、別添『特記仕様書』、『金抜設計書』または『設計図面』を参照のこと
1-3	契約責任者	NEXCO東日本 東北支社長 梅木 秀郎
1-4	契約担当部署	NEXCO東日本 東北支社 技術部 調達契約課 (住所) 〒983-8477 宮城県仙台市宮城野区榴岡1-1-1 JR仙台イーストゲートビル12階 (電話) 022-395-7641 (電子メールアドレス) ki-r-tohoku@e-nexco.co.jp
1-5	入札方法	電子入札
1-6	契約書の作成	必要（作成方法については落札者と協議する）…入札者に対する指示書[30]を参照のこと
1-7	支払条件	前金払の有無：「有」 部分払の有無：「有」
1-8	入札手続き日程	本書『2. 入札手続き日程』を参照のこと
1-9	競争参加資格要件等	本書『競争参加資格要件等一覧表』を参照のこと
1-10	指名併用理由	本調達案件においては非該当
1-11	設計業務成果品等の貸与	入札者に対する指示書[7]②に示す閲覧資料の有無：本書2-18. に示すとおり
1-12	参考積算条件書の掲載	掲載の有無：本書2-19. に示すとおり

1-13	見積活用方式の有無	本書『競争参加資格要件等一覧表』を参照のこと
1-14	その他	特記事項なし

2. 入札手続き日程

2-1	審査基準日	本書2-3. に示す「競争参加資格確認申請書」の提出期間の最終日
2-2	契約図書の配布期間	入札公告の日から令和6年11月11日まで
2-3	競争参加資格確認申請書の提出期限	<p>【提出期限】 入札公告の日から令和6年11月11日 16時00分まで ※共通入札公告2-3. に示す調達手続に参加するための条件等を十分に確認のうえ提出すること。</p> <p>【提出方法】 入札者に対する指示書【電子入札】[9]に従い、電子入札システムにより提出すること。 なお、提出書類が添付可能な総容量（3MB）を超える場合は、入札者に対する指示書【電子入札】[9] [2] (6)に示すとおり提出書類を電子メール又は書留郵便等（書留郵便等による提出方法の詳細は、入札者に対する指示書の冒頭「お知らせ」を参照のこと。普通郵便、持参による提出は受け付けない。）により提出すること。なお、書留郵便等により提出する場合は、2部提出すること。</p> <p>【提出書類】 (1) 競争参加資格確認申請書様式1 (2) 競争参加資格確認申請書様式2</p>
2-4	競争参加資格確認結果通知日	令和6年12月5日を予定
2-5	競争参加資格がないと認めた理由の説明請求期限日	競争参加資格の確認結果を通知した日の翌日から起算して7日（休日を含まない。）以内の休日を除く、毎日10時00分から16時00分まで

2-6	技術提案書の提出期限	<p>【提出期限】 令和6年12月12日 16時00分 ※共通入札公告2-3-5. (3)～(7)に示す技術提案書に関する事項及び別添「技術提案書作成説明書」を十分に確認の上提出すること。</p> <p>【提出方法】 電子メール又は書留郵便等（書留郵便等による提出方法の詳細は、入札者に対する指示書の冒頭「お知らせ」を参照のこと。普通郵便、持参による提出は受け付けない。）により提出すること。なお、書留郵便等により提出する場合は、4部提出すること。</p>
2-7	技術提案書に関するヒアリング期間	<p>【実施期間】 令和6年12月16日から令和7年1月16日までを予定</p> <p>【実施場所】 NEXCO東日本 東北支社 会議室 又はWeb会議システム</p>
2-8	改善技術提案書の提出期限	<p>【提出期限】 令和7年1月27日 16時00分</p> <p>【提出方法】 本書2-6. に示す技術提案書の提出方法と同じ</p>
2-9	技術提案書の採否通知日	令和7年2月20日を予定
2-10	参考見積書の提出期限	<p>【提出期限】 令和6年11月11日 16時00分</p> <p>【提出方法】 電子メール又は書留郵便等（書留郵便等による提出方法の詳細は、入札者に対する指示書の冒頭「お知らせ」を参照のこと。普通郵便、持参による提出は受け付けない。）により提出すること。提出部数は1部とする。</p>
2-11	参考見積書に関する問い合わせ期間	令和6年12月16日から令和7年1月16日までを予定
2-12	訂正参考見積書提出期限	<p>【提出期限】 令和7年1月27日 16時00分</p> <p>【提出方法】 本書2-10. に示す参考見積書の提出方法と同じ</p>

2-13	入札書の提出期限	<p>【提出期限】 令和7年3月26日 16時00分 ※共通入札公告2-4. に示す入札・開札・落札者の決定に関する事項を十分に確認のうえ提出すること。 <u>なお、入札時に提出する単価表は、Microsoft Excelにより作成することとし、参考見積書を提出した項目の摘要欄には「見積対象」と記載すること。（金抜設計書様式のとおり）</u></p> <p>【提出方法】 入札者に対する指示書【電子入札】[12]から[17]に従い、電子入札システムにより提出すること。</p> <p>【提出書類】 (1) 入札書 (2) 単価表（※Microsoft Excelにより提出すること。） (3) 総合評定値通知書（経審）の写し</p>
2-14	開札日時	令和7年3月28日 13時30分
2-15	開札執行場所	本書1-4. に示す契約担当部署

2-16	本件競争入札に関する 質問受付期間	<p>【受付期間】 入札公告の日から令和7年3月11日 16時00分まで</p> <p>【受付場所】 本書1-4. に示す契約担当部署</p> <p>【受付方法】 質問書面（様式自由）を電子メール又は書留郵便等（書留郵便等による提出方法の詳細は、入札者に対する指示書の冒頭「お知らせ」を参照のこと。）により提出すること。 書留郵便等による提出で質問数が5問以上の場合は、質問書面のほか、質問書面をMicrosoft Word等により作成したファイルを記録したCD-Rも提出すること。 なお、質問書面には会社名及び提出日を記載すること。</p> <p>【質問内容の記載上の留意点】 質問書面中に記載する質問内容に、質問者の会社名やその会社を類推できるような情報を記載しないようにすること。</p>
2-17	質問に対する回答期間	質問書受領日の翌日から原則として5日以内（休日を除く。）
2-18	資料の閲覧期間 (設計業務成果品等の貸与)	<p>本書1-11. に示す設計業務成果品等を、競争参加希望者に対し貸与する。貸与する場合は、共通入札公告2-5-11. に示す設計業務成果品等の貸与に関する事項を十分に確認すること。</p> <p>【貸与期間】 入札公告の日から本書2-3. 「競争参加資格確認申請書の提出期限」前日までの休日を除く毎日、10時00分から16時00分まで</p> <p>【貸与場所】 〒983-8477 宮城県仙台市宮城野区榴岡1-1-1 JR仙台イーストゲートビル12階 NEXCO東日本 東北支社 技術部受付</p> <p>【貸与方法】 本書1-4. に示す契約担当部署へ事前電話連絡後、上記に示す貸与場所へお越しいただき、備え付けの用紙に必要事項を記入いただくことで貸与します。</p> <p>【返却期限】 返却期限・方法については、共通入札公告2-5-11. (5) 及び(6)を参照のこと。</p>

2-19	資料の掲載 (参考積算条件書)	<p>【掲載資料】 ・参考積算条件書 参考積算条件書とは、入札参加者が入札書類を作成する際の参考資料として、当該工事の当初積算に使用する主要な材料の設計単価等を掲載する参考資料をいう。</p> <p>【掲載場所】 弊社ホームページ上の本入札公告の掲載ページ（案件情報）の最下段「その他情報」に掲載。</p> <p>【掲載日】 令和7年3月11日を予定</p> <p>【その他注意事項】 （1）参考積算条件書は、入札参加者が入札書類を作成する際の参考資料であり、契約書第1条に規定する設計図書ではない。従って請負契約上の拘束力を生じるものではない。 （2）本資料に掲載の単価についての質問・問合せには応じられない。 （3）本資料の全部または一部を閲覧者が複製、転載、電子媒体等へ入力し、また、それらを第三者に譲渡、販売、配布することを禁止する。 （4）本資料を基にした公表資料の二次的著作物の作成を禁止する。 （5）本資料に掲載の単価については、上記工事の当初積算に使用する主要な材料の設計単価等を掲載する。</p>
------	--------------------	--

<p>【ご案内】 NEXCO東日本における調達契約手続きの電子化の概要について</p> <p>NEXCO東日本では、競争参加希望者・受注者の皆さまの負担軽減・業務効率化や、手続きの迅速化を目的として令和3年4月以降、調達契約手続きの電子化を一層推進しております。</p> <p>東北支社においては、令和5年4月以降に入札公告する案件（一部案件を除く）から、条件付一般競争入札（指名併用型）の競争参加資格要件に「<u>電子入札システムの利用者登録が完了していること</u>」を追加いたしました。電子入札システムの利用者登録は簡単で、費用も低廉です。ぜひ登録をお願いします。（ICカードをお持ちの場合は即日登録完了。ICカード未保有の場合はカード準備のため1か月程度で登録完了。）</p> <p>詳細は、NEXCO東日本のHPに掲載しておりますので、ご確認のうえ手続きをお願いします。 https://www.e-nexco.co.jp/assets/pdf/bids/auction_info/outline.pdf</p>
--

競争参加資格要件等一覧表

工事件名		仙台東部道路 新名取川橋耐震補強工事			
調達手続の概要	競争契約の方法	条件付一般競争入札方式			
	落札者の決定方法	総合評価落札方式	技術提案評価型		
	評価値の算出方法	加算方式			
	見積活用方式の有無	有			
	入札バンド	対象外			
	履行バンド	対象			
	JV募集対象	対象外			
	審査時期	事前審査			
競争参加要件	工事種別等	必要とする競争参加資格	①「令和 5・6 年度競争参加資格」を有する者であること。 ②弊社発注工事において、令和4・5年度の工事種別(橋梁補修工事)の工事成績評定点の各年度の平均点が2年連続で65点未満でないこと。		
		工事種別	橋梁補修工事		
		等級区分又は競争参加資格の区分	無。単体の競争参加のみとし混合は認めない。		
	施工実績	対象となる施工実績	平成21年4月1日以降に元請として完成及び引渡しが完了した下記の施工実績		
		同種工事	道路橋における特殊な鋼構造形式橋梁の上部工の耐震補強工事又は道路橋における特殊な鋼構造形式橋梁の上部工の新設工事(特殊な鋼構造形式橋梁とは、アーチ橋、トラス橋、ローゼ橋、V脚式ラーメン橋、又は、方杖ラーメン橋をいう)(上部工の耐震補強工事には、落橋防止装置又は制震装置等の設置・取替を含む) ただし、当該工事を共同企業体の構成員として施工した場合は、出資の割合(出資比率)が20%以上である場合に限り企業の施工実績として認める。		
		同種工事(緩和)	※本件競争入札においては非該当		
	納入実績等	対象となる納入実績等	※本件競争入札においては非該当		
		同種機器	※本件競争入札においては非該当		
		支援体制	※本件競争入札においては非該当		
	本工事における競争参加資格未資格者	設計業務等の受注者	業務名) 仙台東部道路 新名取川橋耐震補強設計	受注者名) (株)片平新日本技研	
			業務名) 仙台東部道路 増田川橋河川協議用資料作成	受注者名) (株)片平新日本技研	
		施工管理業務の受注者	業務名) 令和5年度 仙台東管理事務所管内耐震補強工事施工管理業務	受注者名) 開発虎ノ門コンサルタント(株)	
業務名) 令和5年度 仙台東管理事務所管内施工管理業務			受注者名) e-JEC東日本(株)		
その他	-				
継続契約方式の対象		対象外	対象となる後発工事その1	-	
			対象となる後発工事その2	-	

技術者資格・経験に関する契約履行要件等一覧表

契約履行要件 (契約後に技術者を配置するための要件:調達手続き中の配置は不要)	配置基準	契約締結日において、次に掲げる基準を満たす技術者を、本件業務に配置できること。
	配置予定技術者(現場代理人、主任技術者又は監理技術者)に求める項目 同種工事	<p>①主任技術者又は監理技術者が、本工事に対応する建設業法の許可業種に係る資格を有する者であること。</p> <p>本工事に対応する建設業法の許可業種：土木工事業又は鋼構造工事業のいずれか</p> <p>なお、監理技術者にあつては、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者であること。</p> <p>②現場代理人、主任技術者又は監理技術者(当該工事に配置する特例監理技術者または監理技術者補佐の場合を含む)のうち、いずれかの者が、平成21年4月1日に元請として完成及び引渡しが完了した下記同種工事の施工経験を有すること。</p> <p>道路橋における特殊な鋼構造形式橋梁の上部工の耐震補強工事又は道路橋における特殊な鋼構造形式橋梁の上部工の新設工事(特殊な鋼構造形式橋梁とは、アーチ橋、トラス橋、ローゼ橋、V脚式ラーメン橋、又は、方杖ラーメン橋をいう)(上部工の耐震補強工事には、落橋防止装置又は制震装置等の設置・取替を含む)</p> <p>ただし、当該工事を共同企業体の構成員として施工した場合は、出資の割合(出資比率)が20%以上である場合に限り施工経験として認める。なお、施工経験における従事役職は問わない。 また、施工経験を有する者が配置予定の現場代理人のみである場合は、その者は①に示す資格のいずれかを有している者でなければならない。</p>
	配置予定技術者(設計管理技術者及び照査技術者)に求める項目 資格要件	<p>下記に示すいずれかの技術者資格を有し、かつ、当該技術者資格に応じて関連する法規又は制度による資格登録等を行っている者であること。</p> <p>①技術士</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合技術監理部門(建設部門—鋼構造及びコンクリート) ・建設部門(鋼構造及びコンクリート) ・上記「建設部門(鋼構造及びコンクリート)」と同等の能力と経験を有する者※1 <p>②国土交通省登録技術者資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・橋梁_計画・調査・設計 <p>③RCCM</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鋼構造及びコンクリート <p>④土木学会認定土木技術者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別上級土木技術者[鋼・コンクリート] ・上級土木技術者(コースA)[鋼・コンクリート] ・1級土木技術者(コースA)[鋼・コンクリート] ・上級土木技術者(コースB)[鋼・コンクリート] ・1級土木技術者(コースB)[鋼・コンクリート] <p>上記※1に示す、「同等の能力と経験を有する者」とは、外国資格を有する技術者(わが国及びWTO政府調達協定締約国その他建設市場が開放的であると認められる国等の企業に所属する技術者に限る)にあつて、あらかじめ技術士相当の旧建設大臣認定または国土交通大臣認定を受けている技術者をいう。</p> <p>なお、上記の資格について、現在の資格名称等(部門名称等を含む。以下同じ。)と過去の資格名称等が異なる場合は、当該資格の認定機関にて資格名称等の内容に相異が無いことが確認できること。</p>
その他	-	

技術評価項目及び技術評価基準

技術評価を行うため入札者に提出を求める技術提案書に係る評価項目、評価基準及び配点は次のとおりとする。

技術提案評価型		技術評価点(満点)	30点
大分類	小分類	評価項目 求める評価項目	配点
性能・機能等	性能・機能	確実な品質確保に資する単弦ローゼ部補強部材の設計製作及び現場施工における留意点と その対応	15点
自由設定項目	自由設定	特記仕様書に示す、河川内工事における施工期間内に確実に耐震補強を行うための留意点 と対応策	15点

- 1) 1 評価項目につき、1 技術提案まで記載するものとする。
- 2) 1 技術提案毎に10点満点で評価する。
- 3) 評価は、次のとおり行う。
 - 3) -1 求める技術提案毎に各評価者が下表の評価基準に基づき行う（採否及び評価点の付与）。
 - 3) -2 評価項目毎に、式①、又は式②に基づき、各評価者の評価点の和を評価者数で除し、15点満点に換算する（小数第4位以下切捨て）。
 - 3) -3 式③に基づき、上記で求めた各評価項目の評価点の合計を技術評価点とする。

$$\text{評価項目①の評価点} = \frac{\text{各評価者が評価した評価項目①の技術提案の評価点の合計}}{\text{評価者数(3名)}} \times \frac{15}{\text{求める技術提案数(1つ)} \times 10} \dots \text{式①}$$

$$\text{評価項目②の評価点} = \frac{\text{各評価者が評価した評価項目②の技術提案の評価点の合計}}{\text{評価者数(3名)}} \times \frac{15}{\text{求める技術提案数(1つ)} \times 10} \dots \text{式②}$$

$$\text{技術評価点} = \text{評価項目①の評価点(式①)} + \text{評価項目②の評価点(式②)} \dots \text{式③}$$

評価基準

求める技術提案毎の評価 (評価項目①②共通)		評価基準	評価点	配点	
1. 提案概要		記載有	-	-	
		記載が無く、かつ、標準案による施工の意思を示している	不採用		
2. 施工方法及び改善効果	施工による改善効果	極めて優れている	6.000点	8.000点	
		優れている	4.000点		
		良い	2.000点		
		可、又は、標準案と同程度である	0.000点		
		「技術提案書作成説明書」の「5.技術提案書の記載上の注意事項及び添付資料」に記載する、不採用とする場合に該当する	不採用		
	新技術の採用及び建設業界を取り巻く状況への対応	対応が	極めて優れている		2.000点
良い			1.000点		
	可、又は、標準案と同程度である	0.000点			
	「技術提案書作成説明書」の「5.技術提案書の記載上の注意事項及び添付資料」に記載する、不採用とする場合に該当する	不採用			
	記載が無く、かつ、標準案による施工の意思を示している	不採用			
3. 施工実績	施工実績が	有	1.000点	1.000点	
		無	0.000点		
		「技術提案書作成説明書」の「5.技術提案書の記載上の注意事項及び添付資料」に記載する、不採用とする場合に該当する	不採用		
	記載が無く、かつ、標準案による施工の意思を示している	不採用			
4. 履行確認方法	確認方法が	明確	1.000点	1.000点	
		不明確	0.000点		
		「技術提案書作成説明書」の「5.技術提案書の記載上の注意事項及び添付資料」に記載する、不採用とする場合に該当する	不採用		
	記載が無く、かつ、標準案による施工の意思を示している	不採用			
計			10.000点		

- ◇留意事項
- ①技術提案書は、技術提案書様式に従って作成するものとする。求める評価項目ごとに記載できる技術提案数は1技術提案とし、1評価項目につきA4版片面1頁以内で記載することとする。
 - ②技術提案書が、技術提案書様式に従って作成されていない場合は不採用とする。
 - ③技術提案に記載する文字の大きさは10ポイント以上とする。また、記載する内容は文章のみとし、図表は記載しないこと。
 - ④上表による評価の結果、1項目でも不採用に該当した場合は、その技術提案を不採用とする。なお、技術提案が不採用の場合は、技術提案書様式1にて示された「標準案の施工意思の有無」に従い対処するものとする。
 - ⑤不採用の場合の技術評価点は「0.000点」とする。
 - ⑥技術提案は、1つの施工技術を用いた施工内容である場合、または、複数の施工技術を組み合わせによる施工内容である場合に評価する。
 - ⑦本工事における過度なコスト負担を要する提案は、下記の事例を想定している。
 - ・構造形式、補強工法の変更を伴う提案。
 - ・昼夜連続施工による工期短縮案。
 評価項目に対するより優れた提案であっても、過度なコスト負担を要する提案は、過度なコスト負担を要しない提案より優れた評価とはしない。